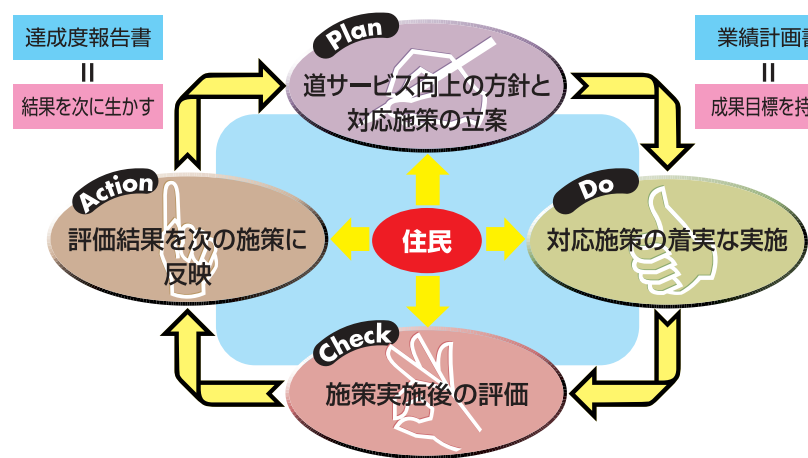


「達成度報告書／業績計画書」とは

道路の整備を進めるにあたり、過年度の成果を評価（達成度報告書）し、今年度の成果目標を宣言（業績計画書）して実施しています。

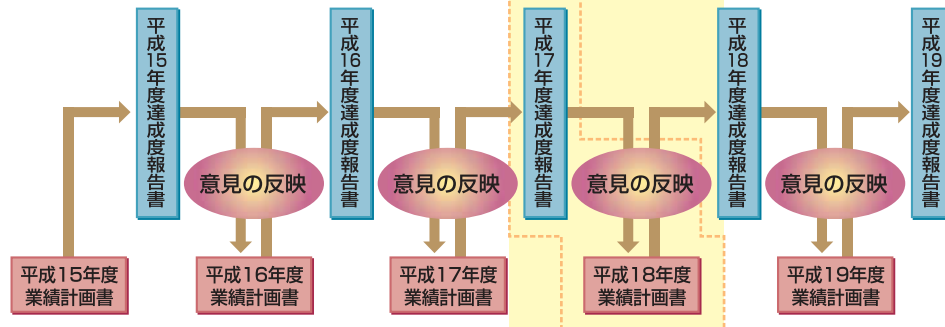
計画（PLAN）—実施（DO）—診断・評価（CHECK）—反映（ACTION）のサイクルによる効率的で透明性のある道路行政を運営します。



道路行政の業績評価のサイクル

宮城の道サービスの将来像（5カ年の目標） 平成19年度末までの目標

上述の取組みは「5カ年の目標」（宮城の道サービスの将来像）の達成に向けて、毎年度評価を行い、目標達成に向けて必要な施策を確実に実施していこうとしているものです。



「平成16年度達成度報告書／平成17年度業績計画書」への意見募集結果

昨年度公表パンフレットで行いました意見募集について、主な結果を下記にとりまとめます。

道路行政マネジメントの必要性について

⇒8割の方が必要と回答されています

全体的な分かり易さについて

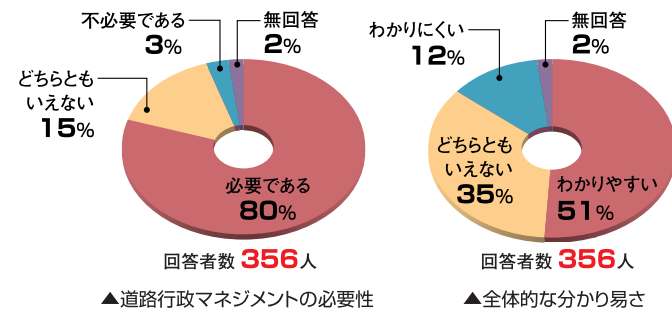
⇒分かり易い回答は約半分となっており、以下の様な改善事項を頂いております
○内容（指標等）が専門的でわかりにくい
○図・写真等が見づらい

その他

- マスコミを利用してパンフレットを浸透させるべき
- 様々な場所で入手可能にして欲しい

等々

◆配布部数: 10,000部—アンケート有効回答部数: 356部



今年度は、より分かり易い「達成度報告書／業績計画書」を作成いたしました

昨年度は11のテーマ毎に評価を行いました。今年度は評価指標が分かりにくい等の意見を反映させ、分かりやすく関心の高い4つのテーマに絞り、各テーマごとに評価事例を紹介しています。

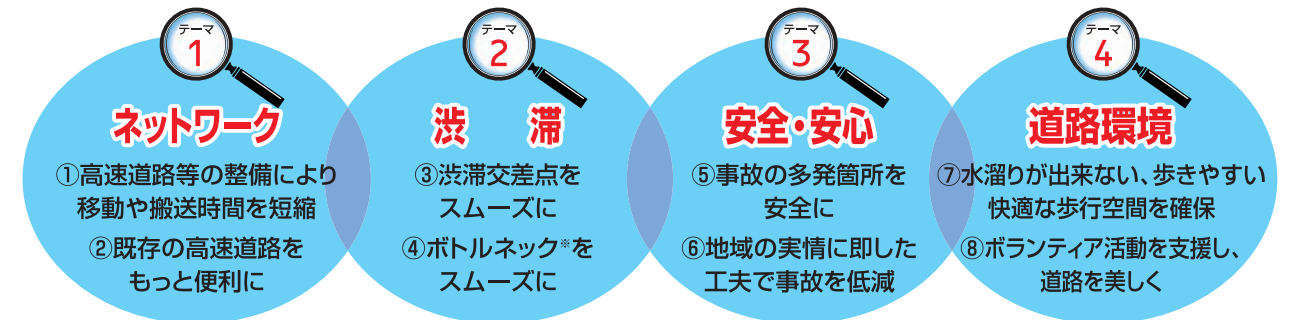
道づくり基本方針と4つのテーマ

各年次の目標設定は、平成15年度に策定した「宮城の道サービスの将来像」に向けた目標値を設定しています。

「宮城の道サービスの将来像」では、道サービスを高めるため、道づくり基本方針の「3つの柱」と「11の施策テーマ」に基づく道路整備を進めています。

11の施策テーマは、様々な面で共通する点が多いことと、昨年度アンケートの中で基本方針の取組みに対する評価のうち「不十分」の回答が多かった指標については、住民の関心が高く、更なる取組みが求められていると捉え、その指標に関するテーマを主とし、下記4つのテーマに再分類して評価を行います。

4つのテーマと主な取組み



*ボトルネック：道路の車線や幅が狭くなる箇所

道づくり基本方針「3つの柱」

基本方針Ⅰ

安全・安心で豊かな生活を実現するための道サービスを向上させます

基本方針Ⅱ

国内・国際競争力を高めた強い宮城を創造するための道サービスを向上させます

基本方針Ⅲ

地域の資源を活かした個性や活力あるまちづくりを実現するための道サービスを向上させます

【道づくり基本方針と再分類4テーマの対応】

※上記の①～⑧に対応

道づくり基本方針	11の施策テーマ	昨年度アンケートによる基本方針別の取組みに対する評価				1.ネットワーク 2.渋滞 3.安全・安心 4.道路環境									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧						
基本方針Ⅰ	a. 地域の中心都市間を連絡するネットワークの構築	46.7	33.4	19.9		◎									
	b. 安全快適な歩行空間整備の促進	42.1	27.4	30.5						○	○	◎			
	c. 道路改良や道路付属施設整備による総合的な事故抑止対策の促進	37.8	37.2	25.1						◎	○				
	d. 安全で信頼性の高い道路網の確保	38.3	40.6	21										◎	
	e. 渋滞対策の推進	31.7	31.7	36.6							◎	◎			
基本方針Ⅱ	f. 物流効率化への支援等	46.5	38.3	15.2		◎	○								
	g. 規格の高い道路のネットワークの構築等	41.5	41.8	16.7		◎									
	h. 地域の中心都市へのアクセスを確保する道路整備	39.9	39.6	20.5		◎	○			○					
基本方針Ⅲ	i. 交通円滑化の促進	34.0	39.8	26.2						○	◎	○			
	j. 交通環境改善の推進	36.7	35.3	28										◎	
	k. 沿道住民の道路管理への参加を促進	30.3	44.5	25.1										◎	

◎：特に関連の強いもの
○：関連のあるもの
単位：％
：十分
：どちらともいえない
：不十分
：25%以上が不十分と回答